

本 会 記 事

I. 平成 24 年度第 2 回評議員会議事録

日 時：平成 25 年 3 月 26 日（火）14:00～16:10

場 所：岐阜大学サテライトキャンパスミーティングルーム A（岐阜市吉野町 6-31）

評議員出席者：

相野公孝，秋光和田，荒瀬 榮，畔上耕児，築尾嘉章，古屋廣光，平塚和之，石川成寿，岩井 久，景山幸二，川北一人，近藤則夫，久保康之，桑田 茂，増田 税，仲川晃生，難波成任，夏秋啓子，夏秋知英，西口正通，大木 理，大島一里，佐野輝男，高橋英樹，高橋賢司，高松 進，瀧川雄一，田中文夫，土屋健一，津田新哉，柘植尚志，吉川伸幸，金山晋治，奥野哲郎会長，百町満朗副会長，濱本 宏庶務幹事長，根岸寛光庶務副幹事長

以上評議員 37 名（定数 53 名，欠席：阿久津克己，

有江 力，曳地康史，廣岡 卓，石黒 潔，北 宜裕，松永 礼，森田健二，西尾 健，尾谷 浩，白石友紀，田代暢哉，寺岡 徹，土佐幸雄，對馬誠也，長谷川裕）

幹事出席者：

齋藤憲一郎会計幹事，小松 健会計副幹事，宮田伸一庶務幹事，芦澤武人庶務幹事

1. 審議事項

(1) 平成 25 年度日本農学進歩賞推薦候補者の選定について（奥野会長）

日本農学会進歩賞に学会員一名を推薦することが提案され，承認された。

(2) 平成 25 年度定期総会資料の検討（奥野会長）

1) 平成 24 年度会務報告

宮田幹事から庶務報告案が紹介された。続いて齋藤会計幹事より会計報告案が紹介され，補足として外部監査の指摘に対応して収支ともに増えた経緯が紹介された。また夏秋会計監査より会計監査報告案が紹介された。次いで大島編集委員長より学会報編集報告案が紹介され，補足として海外からの投稿数がさらに増加していることが報告された。以上の会務報告案が承認された。

2) 平成 25 年度会務案

芦澤幹事から行事案が紹介され，承認された。続いて小松幹事から予算案について賛助会員が増えた点，100 周年記念事業のための予算案について紹介され，承認された。また，大島編集委員長から学会報編集計画案が紹介され，

承認された。

3) 平成 25 年度役員および委員（奥野会長）

新年度の役員および委員が紹介され，一部氏名の修正を加え，承認された。

4) 会則・規程の改正（濱本庶務幹事長）

会則・規程の改正点が紹介され，奥野会長より補足説明があり，承認された。

(3) 大会開催地について

1) 平成 26 年度大会開催地の決定（増田次期大会委員長）
平成 26 年 6 月 2 日～4 日の 3 日間，札幌コンベンションセンターで大会が開催されることが紹介され，承認された。

2) 平成 27 年度開催地について（奥野会長）

100 周年記念事業の開催に伴い，南関東地区にて開催されることが確認され，南関東地区の桑田評議員より挨拶があった。

(4) その他

1) JGPP の競争入札・発行者者について（濱本庶務幹事長）

平成 26 年 1 月からの契約は入札の予定であることが提案され，より一層のコスト削減に努める必要性が議論され，承認された。

2) 電子投票システムの導入について（根岸庶務副幹事長）

規程の改正が必要であることが提案され，今後は導入するための具体的な準備作業が議論され，承認された。

3) 日本学術振興会育志賞の選考について（奥野会長）

第 4 回日本学術振興会育志賞に学会員一名を選考することが提案され，承認された。

2. 報告事項

(1) 学会報編集委員会（大島編集委員長）

JGPP への海外からの投稿数が引き続き増大していること，100 周年記念事業のレビューの編集進捗状況が報告された。

(2) 病名委員会（仲川病名委員長）

委員会の活動が紹介された。

(3) 100 周年記念事業実行委員会

難波委員長より実行委員会の体制とこれまでの作業について報告され，100 周年記念シンポジウムと会場について準備の進捗状況が報告された。また大島編集委員長から英文レビューの第 2 回の投稿締め切りが迫っているので，遅れないようにしてほしいとの要望があった。

(4) 国際対応委員会（夏秋国際対応委員長）
日豪学生交流事業によって25年度は日本から2名がAPPSに参加する予定である。近く募集を行うことが報告された。

(5) 教育プログラム推進委員会（百町委員長）
平成25年度はつくば地域で開催する予定であることが紹介された。

(6) 技術士対応委員会（難波技術士対応委員長）
技術士試験への取り組みが紹介された。

(7) 日本学術振興会賞の推薦者の選考について（奥野会長）
平成25年度の日本学術振興会賞に学会員一名を推薦することが報告された。

3. 平成25年度大会委員長挨拶
百町大会委員長より挨拶があった。

II. 総会資料

II-1. 平成24年度会務報告

1. 庶務報告

(1) 会員数 計2,015名（平成25年1月1日現在）
 名誉会員 33名
 永年会員 71名
 正会員 1,311名（内 外国会員18名）
 学生会員 354名
 準会員 136団体
 賛助会員 40社（110口）

(2) 会員のご逝去

桐山 清氏 平成23年 5月12日
 西崎仁博氏 平成24年 6月15日
 山本英夫氏 平成24年 8月20日
 伊東茂久氏 平成24年10月15日
 獅山慈孝氏 平成25年 1月31日

(3) 学会報

発行部数 英文誌：第78巻1～6号 各2,000部
 （計12,000部）
 和文誌：第78巻1～4号 各2,050部
 （計8,200部）
 頒布部数 英文誌：国内（1～6号） 各1,769部
 （計10,614部）
 国外（1～6号） 各77部
 （計462部）
 計 各1,846部
 （計11,076部）

[内 国外交換45 国外寄贈6 名誉会員32 永年会員16 賛助会員64 準会員139（計302）]

和文誌：国内（1～4号） 各1,832部
 （計7,328部）

国外（1～4号） 各63部
 （計252部）

計 各1,895部
 （計7,580部）

[内 国内交換5 国内寄贈8 広告主5 名誉会員32 永年会員69 賛助会員63 準会員139（計321）]

(4) 役員会・委員会開催状況

第1回評議員会 平成24年11月17日
 第2回評議員会 平成25年 3月26日
 幹事会 平成24年 4月28日
 8月 4日
 9月15日
 11月17日
 平成25年 2月16日
 3月26日
 編集委員会 平成25年 3月26日
 賞選考委員会 平成24年 9月15日
 功績者推薦委員会 平成24年 9月14日
 選挙管理委員会 平成24年11月17日
 病名委員会 平成25年 3月26日
 学会ニュース編集委員会 平成24年 5月16日
 教育プログラム推進委員会 平成24年12月18日
 技術士対応委員会 平成24年 7月 3日
 5学会技術士育成推進委員会 平成24年 9月 3日

(5) 総会・大会開催状況

総会 平成24年3月28日
 福岡国際会議場（福岡市）
 大会 平成24年3月28～30日
 福岡国際会議場（福岡市）

(6) 部会開催状況

北海道部会 平成24年10月18～19日
 北海道大学農学部（札幌市）
 東北部会 平成24年9月13～14日
 山形大学農学部（鶴岡市）
 関東部会 平成24年9月13～14日
 法政大学市ヶ谷キャンパス（千代田区）
 関西部会 平成24年9月27～28日
 とりぎん文化会館（鳥取市）
 九州部会 平成24年11月14～15日
 福岡県農村整備センター（福岡市）

(7) 談話会・研究会・教育プログラム等開催状況

第2回日韓合同シンポジウム

平成24年3月27日 福岡国際会議場 (福岡市)

第12回植物病原菌類談話会

平成24年3月30日 福岡国際会議場 (福岡市)

第22回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム

平成24年3月31日 福岡国際会議場 (福岡市)

第12回バイオコントロール研究会

平成24年3月31日 福岡国際会議場 (福岡市)

平成24年度植物感染生理談話会

平成24年8月30日~9月1日

休暇村近江八幡 (近江八幡市)

第8回植物病害診断教育プログラム

平成24年9月3~7日 愛媛大学 (松山市)

EBC (Evidence-Based Control) 研究会ワークショップ
2012

平成24年9月11日

全農営農・技術センター (平塚市)

第26回土壌伝染病談話会

平成24年9月20日 東葛テクノプラザ (柏市)

第6回植物病害診断研究会

平成24年11月13~14日

福岡県農村整備センター (福岡市)

(8) 名誉会員の推挙

第1回評議員会で次の方を推挙することが決定された
(ABC順).

道家紀志氏, 日比忠明氏, 堀野 修氏, 米山勝美氏

(9) 永年会員の推挙

第1回評議員会で次の方を推挙することが決定された
(ABC順).

尾崎武司氏, 周藤靖雄氏, 土屋貞夫氏, 与那覇哲義氏

(10) 平成25年度学会賞

第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された
(ABC順).石川成寿氏 「生物農薬の開発ならびにイチゴ炭疽病
に対する環境に配慮した防除技術の構
築」

夏秋啓子氏 「熱帯作物の病害に関する研究」

大島一里氏 「ポテトウイルスの分子進化的研究」

(11) 平成25年度学術奨励賞

第1回評議員会で次の3氏に授賞することが決定された
(ABC順).中馬いづみ氏 「いもち病菌における抵抗性遺伝子適応
機構に関する研究」小松 健氏 「ウイルス感染防御応答による全身壊死
誘導の分子機構に関する研究」宇佐見俊行氏 「*Verticillium dahliae* の寄生性分化に関する研究」

(12) 平成25年度論文賞 (掲載順)

第1回評議員会で次の2件に授賞することが決定された.

Mochizuki, S., Saitoh, K., Minami, E. and Nishizawa, Y.:
Localization of probe-accessible chitin and characterization
of genes encoding chitin-binding domains during rice—
Magnaporthe oryzae interactions. *Journal of General Plant
Pathology* 77(3): 163–173 (2011)Chuma, I., Hotta, Y. and Tosa, Y.: Instability of subtelomeric
regions during meiosis in *Magnaporthe oryzae*. *Journal of
General Plant Pathology* 77(6): 317–325 (2011)

(13) 平成25年度副会長選挙

平成24年10月施行 (開票は11月6日), 土屋健一氏が
選出された.

(14) 会員システムの更新を行った.

2. 平成24年度会計報告

(1) 一般会計収支計算書(平成24年1月1日から平成24年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	22,152,000	22,219,712	△ 67,712
正会員会費収入	12,845,000	13,115,000	△ 270,000
学生会員会費収入	1,740,000	1,385,000	355,000
学部生会員会費収入	12,000	0	12,000
外国会員会費収入	225,000	149,712	75,288
準会員会費収入	2,130,000	2,070,000	60,000
賛助会員会費収入	5,200,000	5,500,000	△ 300,000
会報刊行収入	6,010,000	6,274,718	△ 264,718
頒布収入	350,000	375,800	△ 25,800
広告料収入	160,000	210,000	△ 50,000
著者負担金収入	5,500,000	5,688,918	△ 188,918
事業収入	17,638,634	27,686,096	△ 10,047,462
大会収入	8,000,000	13,088,154	△ 5,088,154
部会収入	3,191,086	4,922,773	△ 1,731,687
談話会・研究会収入	5,647,548	5,748,084	△ 100,536
教育プログラム収入	800,000	945,030	△ 145,030
日韓シンポジウム収入	0	2,982,055	△ 2,982,055
研究成果公開促進費収入	2,700,000	2,700,000	0
雑収入	540,000	613,271	△ 73,271
預金利息収入	40,000	38,410	1,590
雑収入	500,000	574,861	△ 74,861
事業活動収入計	49,040,634	59,493,797	△ 10,453,163
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	20,800,000	19,728,922	1,071,078
印刷製本費支出	16,000,000	15,282,539	717,461
編集費支出	4,800,000	4,446,383	353,617
事業支出	18,293,500	26,292,677	△ 7,999,177
大会支出	9,000,000	14,273,558	△ 5,273,558
部会支出	2,856,000	3,973,165	△ 1,117,165
談話会・研究会支出	5,137,500	4,505,353	632,147
教育プログラム支出	1,300,000	1,480,730	△ 180,730
日韓シンポジウム支出	0	2,059,871	△ 2,059,871
学術奨励関係費支出	1,330,000	1,134,782	195,218
国際学術交流費支出	160,000	180,000	△ 20,000
情報電子化費支出	1,700,000	1,697,000	3,000
HP 充実費支出	360,000	360,000	0

情報維持費支出	1,340,000	1,337,000	3,000
男女共同参画支援費支出	200,000	245,340	△ 45,340
男女共同参画費支出	200,000	245,340	△ 45,340
負担金支出	1,050,000	825,600	224,400
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
農学会負担金支出	150,000	130,350	19,650
国際植物病理学会負担金支出	600,000	395,250	204,750
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金支出	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金支出	100,000	100,000	0
事業運営費支出	2,600,000	2,437,029	162,971
会議費支出	750,000	756,225	△ 6,225
旅費交通費支出	1,700,000	1,561,360	138,640
各種委員会関係費支出	150,000	119,444	30,556
管理費支出	4,947,000	5,010,432	△ 63,432
通信運搬費支出	500,000	509,971	△ 9,971
消耗品費支出	200,000	161,980	38,020
事務管理費支出	3,297,000	3,297,000	0
印刷費支出	300,000	135,030	164,970
外部監査管理費支出	150,000	133,250	16,750
雑支出	500,000	773,201	△ 273,201
100周年記念事業支援金支出	2,000,000	533,388	1,466,612
事業活動支出計	53,080,500	58,085,170	△ 5,004,670
事業活動収支差額	△ 4,039,866	1,408,627	△ 5,448,493
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	2,400,000	2,400,000	0
100周年記念事業特別基金取崩収入	2,400,000	2,400,000	0
投資活動収入計	2,400,000	2,400,000	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	922,184	△ 922,184
国際学術交流基金取得支出	0	922,184	△ 922,184
投資活動支出計	0	922,184	△ 922,184
投資活動収支差額	2,400,000	1,477,816	922,184
III 財務活動収支の部			
当期収支差額	△ 1,639,866	2,886,443	△ 4,526,309
前期繰越収支差額	2,459,070	2,454,570	4,500
次期繰越収支差額	819,204	5,341,013	△ 4,521,809

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、未収金・未払金、仮払金・前受金及び預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	9,745,220	14,540,013
未収金	2,626,710	1,148,000
仮払金	1,000,000	0
合 計	13,371,930	15,688,013
未払金	210,000	1,186,000
前受金	10,625,000	9,161,000
預り金	82,360	0
合 計	10,917,360	10,347,000
次期繰越収支差額	2,454,570	5,341,013

(2) 貸借対照表 (平成24年12月31日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,540,013	9,745,220	4,794,793
未収金	1,148,000	2,626,710	△1,478,710
仮払金	0	1,000,000	△1,000,000
流動資産合計	15,688,013	13,371,930	2,316,083
2. 固定資産			
特定資産			
学術事業安定化基金	25,521,662	25,521,662	0
学術奨励基金	17,027,595	17,027,595	0
国際学術交流基金	9,649,267	8,727,083	922,184
100周年記念事業特別基金	7,600,000	10,000,000	△2,400,000
特定資産合計	59,798,524	61,276,340	△1,477,816
固定資産合計	59,798,524	61,276,340	△1,477,816
資産合計	75,486,537	74,648,270	838,267
II 負債の部			
流動負債			
未払金	1,186,000	210,000	976,000
前受金	9,161,000	10,625,000	△1,464,000
預り金	0	82,360	△82,360

流動負債合計	10,347,000	10,917,360	△ 570,360
負債合計	10,347,000	10,917,360	△ 570,360
III 正味財産の部			
一般正味財産	65,139,537	63,730,910	1,408,627
正味財産合計	65,139,537	63,730,910	1,408,627
負債及び正味財産合計	75,486,537	74,648,270	838,267

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
学術事業安定化基金	25,521,662	0	0	25,521,662
学術奨励基金	17,027,595	0	0	17,027,595
国際学術交流基金	8,727,083	922,184	0	9,649,267
100周年記念事業特別基金	10,000,000	0	2,400,000	7,600,000
合 計	61,276,340	922,184	2,400,000	59,798,524

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
学術事業安定化基金	25,521,662	(0)	(25,521,662)	(0)
学術奨励基金	17,027,595	(0)	(17,027,595)	(0)
国際学術交流基金	9,649,267	(0)	(9,649,267)	(0)
100周年記念事業特別基金	7,600,000	(0)	(7,600,000)	(0)
合 計	59,798,524	(0)	(59,798,524)	(0)

(3) 正味財産増減計算書(平成24年1月1日から平成24年12月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	22,219,712	22,284,640	△ 64,928
正会員会費	13,115,000	13,090,729	24,271
学生会員会費	1,385,000	1,466,716	△ 81,716
外国会員会費	149,712	121,695	28,017
準会員会費	2,070,000	2,305,500	△ 235,500
賛助会員会費	5,500,000	5,300,000	200,000
会報刊行収益	6,274,718	6,571,220	△ 296,502
頒布収益	375,800	286,300	89,500
広告料収益	210,000	191,000	19,000
著者負担金収益	5,688,918	6,093,920	△ 405,002
事業収益	27,686,096	0	27,686,096
大会収益	13,088,154	0	13,088,154
部会収益	4,922,773	0	4,922,773
談話会・研究会収益	5,748,084	0	5,748,084
教育プログラム収益	945,030	0	945,030
日韓シンポジウム収益	2,982,055	0	2,982,055
研究成果公開促進費収益	2,700,000	2,800,000	△ 100,000
雑収益	613,271	493,669	119,602
預金利息収益	38,410	36,980	1,430
雑収益	574,861	456,689	118,172
経常収益計	59,493,797	32,149,529	27,344,268
(2) 経常費用			
会報刊行費	19,728,922	20,473,708	△ 744,786
印刷製本費	15,282,539	15,541,021	△ 258,482
編集費	4,446,383	4,932,687	△ 486,304
事業費	26,292,677	0	26,292,677
大会	14,273,558	0	14,273,558
部会	3,973,165	0	3,973,165
談話会・研究会	4,505,353	0	4,505,353
教育プログラム	1,480,730	0	1,480,730
日韓シンポジウム	2,059,871	0	2,059,871
部会等補助金	0	760,000	△ 760,000
部会補助金	0	600,000	△ 600,000
談話会等補助金	0	160,000	△ 160,000
学術奨励関係費	1,134,782	608,710	526,072
国際学術交流費	180,000	1,259,550	△ 1,079,550

情報電子化費	1,697,000	801,000	896,000
HP 充実費	360,000	360,000	0
情報維持費	1,337,000	441,000	896,000
男女共同参画支援費	245,340	0	245,340
負担金	825,600	422,550	403,050
JABEE 負担金	50,000	50,000	0
農学会負担金	130,350	122,550	7,800
国際植物病理学会負担金	395,250	0	395,250
日本微生物学連盟負担金	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金	100,000	100,000	0
事業運営費	2,437,029	2,583,475	△ 146,446
会議費	756,225	609,360	146,865
旅費交通費	1,561,360	1,799,415	△ 238,055
各種委員会関係費	119,444	174,700	△ 55,256
管理費	5,010,432	5,655,197	△ 644,765
通信運搬費	509,971	769,720	△ 259,749
消耗品費	161,980	242,615	△ 80,635
事務管理費	3,297,000	3,529,000	△ 232,000
印刷費	135,030	234,794	△ 99,764
外部監査管理費	133,250	124,000	9,250
雑費	773,201	755,068	18,133
100周年記念事業支援金	533,388	407,435	125,953
経常費用計	58,085,170	32,971,625	25,113,545
当期経常増減額	1,408,627	△ 822,096	2,230,723
2. 経常外増減の部			
当期一般正味財産増減額	1,408,627	△ 822,096	2,230,723
一般正味財産期首残高	63,730,910	64,553,006	△ 822,096
一般正味財産期末残高	65,139,537	63,730,910	1,408,627
II 指定正味財産増減の部			
III 正味財産期末残高	65,139,537	63,730,910	1,408,627

(4) 財産目録 (平成24年12月31日現在)

			(単位：円)
貸借対照表科目		場所・物量等	金額
(流動資産)			
現金		手元保管	185,252
預金		普通預金	8,476,290
		三井住友銀行白山支店	3,907,721
		三菱東京UFJ銀行駒込支店	2,142,344
		ジャパンネット銀行	1,548,139
		CITIBANK	512,263
		佐賀共栄銀行	365,823
		部会等預金	4,751,862
振替貯金		ゆうちょ銀行	1,126,609
未収金		準会員会費	1,148,000
流動資産合計			15,688,013
(固定資産)			
特定資産			
学術事業安定化基金		学術事業安定化基金	25,521,662
		ジャパンネット銀行定期	6,006,000
		三菱東京UFJ銀行駒込支店定期	16,964,269
		三井住友銀行白山支店定期	2,551,393
学術奨励基金		学術奨励基金	17,027,595
		三井住友銀行白山支店定期	17,027,595
国際学術交流基金		国際学術交流基金	9,649,267
		三井住友銀行白山支店定期	8,446,584
		ジャパンネット銀行定期	280,499
		三井住友銀行白山支店	922,184
100周年記念事業特別基金		100周年記念事業特別基金	7,600,000
		ジャパンネット銀行定期	7,600,000
固定資産合計			59,798,524
資産合計			75,486,537
(流動負債)			
未払金		未払金	1,186,000
前受金		前受金	9,161,000
正会員会費		正会員会費	8,735,000
学生会員会費		学生会員会費	380,000
外国会員会費		外国会員会費	30,000
準会員会費		準会員会費	15,000
学部生会員会費		学部生会員会費	1,000
流動負債合計			10,347,000
負債合計			10,347,000
正味財産			65,139,537

3. 平成 24 年度会計監査報告

平成 24 年度日本植物病理学会収支決算について、平成 25 年 2 月 12 日に岡田事務所 岡田 茂公認会計士の監査を受け、決算書類が「我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、日本植物病理学会の平成 24 年 12 月 31 日をもって終了する会計年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。」との監査報告書を受けました。その後、学会会計監査の結果、収支決算が確実なることを確認しました。

平成 25 年 2 月 22 日

会計監査

有 江 力 ⑩
夏 秋 啓 子 ⑩
西 尾 健 ⑩

4. 平成 24 年度学会報編集報告

項 目	ページ数											
	JGPP (英文誌)							日植病報 (和文誌)				計
	1号 1月	2号 3月	3号 5月	4号 7月	5号 9月	6号 11月	計	1号 2月	2号 5月	3号 8月	4号 11月	
[ページ数内]												
総説	12 (1)	12 (1)	0
テクニク	6 (1)	...	4 (1)	10 (2)	0
原著論文	50 (5)	30 (3)	60 (6)	47 (6)	40 (4)	15 (2)	242 (26)	15 (2)	19 (2)	19 (2)	8 (1)	61 (7)
短報	15 (3)	18 (3)	16 (3)	14 (3)	17 (3)	...	80 (15)	4 (1)	10 (3)	...	12 (3)	26 (7)
病害短信	12 (3)	12 (3)	10 (2)	3 (1)	16 (4)	...	53 (13)	5 (1)	...	5 (1)
論文総ページ	83 (12)	60 (9)	90 (12)	64 (10)	73 (11)	27 (3)	397 (57)	19 (3)	29 (5)	24 (3)	20 (4)	92 (15)
講演要旨 (会長・受賞者)	23 (7)	23 (7)	18 (7)	...	18 (7)
講演要旨 (平成 24 年度大会)	109	...	109
講演要旨 (平成 23 年度部会)	57	57
本会記事	6	25	2	...	33
その他	1	2	...	2	1	2	8	2	...	2	...	4
計	84 (12)	62 (9)	90 (12)	66 (10)	74 (11)	52 (10)	428 (64)	84 (3)	54 (5)	155 (10)	20 (4)	313 (22)
[ページ数外]												
大会案内・お知らせ	8	1	4	8	21
会則・規定	16	16
学会ニュース	4	6	9	3	22
その他	...	2	2	2	2	...	8	12	11	10	23	56
計	0	2	2	2	2	0	8	40	18	23	34	116
[総計]	84	64	92	68	76	52	436	124	72	178	54	429

* () 内は論文数

II-2. 平成25年度会務案

1. 行事案

- (1) 学会報（英文誌第79巻第1～6号，和文誌第79巻第1～4号）を発行する。
- (2) 大会，部会，談話会，研究会を開催する。
- 1) 大会：平成25年3月27～29日 岐阜大学（岐阜市）
- 2) 北海道部会：平成25年10月17～18日 かでる2.7（札幌市）
- 3) 東北部会：平成25年10月28～29日 にぎわい交流館（秋田市）
- 4) 関東部会：平成25年9月12～13日 法政大学市ヶ谷キャンパス（千代田区）
- 5) 関西部会：平成25年9月26～27日 岡山大学50周年記念館（岡山市）
- 6) 九州部会：平成25年11月13日 KKRホテル熊本（熊本市）
- 7) 第13回植物病原菌類談話会：平成25年3月29日 岐阜大学（岐阜市）
- 8) 第11回植物ウイルス病研究会：平成25年3月30日 岐阜大学（岐阜市）
- 9) 第23回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム：平成25年3月30日 岐阜大学（岐阜市）
- 10) 第9回教育プログラム：平成25年8月5～9日 筑波農林研究交流センター（つくば市）
- 11) 平成25年度植物感染生理談話会：平成25年8月19～21日 北陸粟津温泉（小松市）
- 12) EBC研究会ワークショップ2013：平成25年9月18日 全農ビル（千代田区）
- 13) 第7回植物病害診断研究会：平成25年9月27～28日 岡山大学（岡山市）
- (3) 学会賞，学術奨励賞，論文賞等の選考を行う。
- (4) 大会において学生優秀発表賞の選考を行う。
- (5) 名誉会員，永年会員の推挙を行う。
- (6) 平成26～27年度評議員の選挙を行う。
- (7) 平成26年度副会長の選挙を行う。
- (8) その他
- ※平成26年度大会：平成26年6月2～4日 札幌コンベンションセンター（札幌市）

2. 平成25年度一般会計予算書（案）（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）

（単位：円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	22,187,000	22,152,000	35,000
正会員会費収入	12,695,000	12,845,000	△150,000
学生会員会費収入	1,770,000	1,740,000	30,000
学部生会員会費収入	20,000	12,000	8,000
外国会員会費収入	162,000	225,000	△63,000
準会員会費収入	2,040,000	2,130,000	△90,000
賛助会員会費収入	5,500,000	5,200,000	300,000
会報刊行収入	6,010,000	6,010,000	0
頒布収入	350,000	350,000	0
広告料収入	160,000	160,000	0
著者負担金収入	5,500,000	5,500,000	0
事業収入	15,072,220	17,638,634	△2,566,414
大会収入	8,000,000	8,000,000	0
部会収入	3,084,100	3,191,086	△106,986
談話会・研究会収入	3,388,120	5,647,548	△2,259,428
教育プログラム収入	600,000	800,000	△200,000
研究成果公開促進費収入	2,600,000	2,700,000	△100,000

雑収入	640,000	540,000	100,000
預金利息収入	40,000	40,000	0
雑収入	600,000	500,000	100,000
事業活動収入計	46,509,220	49,040,634	△ 2,531,414
2. 事業活動支出			
会報刊行費支出	22,000,000	20,800,000	1,200,000
印刷製本費支出	17,200,000	16,000,000	1,200,000
編集費支出	4,800,000	4,800,000	0
事業支出	18,331,358	18,293,500	37,858
大会支出	9,000,000	9,000,000	0
部会支出	3,974,100	2,856,000	1,118,100
談話会・研究会支出	4,257,258	5,137,500	△ 880,242
教育プログラム支出	1,100,000	1,300,000	△ 200,000
学術奨励関係費支出	1,330,000	1,330,000	0
国際学術交流費支出	300,000	160,000	140,000
情報電子化費支出	1,700,000	1,700,000	0
HP 充実費支出	360,000	360,000	0
情報維持費支出	1,340,000	1,340,000	0
男女共同参画支援費支出	200,000	200,000	0
負担金支出	750,000	1,050,000	△ 300,000
JABEE 負担金支出	50,000	50,000	0
農学会負担金支出	150,000	150,000	0
国際植物病理学会負担金支出	300,000	600,000	△ 300,000
日本微生物学連盟負担金支出	100,000	100,000	0
国際植物保護学会負担金支出	50,000	50,000	0
植物保護科学連合負担金支出	100,000	100,000	0
事業運営費支出	2,400,000	2,600,000	△ 200,000
会議費支出	750,000	750,000	0
旅費交通費支出	1,500,000	1,700,000	△ 200,000
各種委員会関係費支出	150,000	150,000	0
管理費支出	4,960,000	4,947,000	13,000
通信運搬費支出	500,000	500,000	0
消耗品費支出	200,000	200,000	0
事務管理費支出	3,310,000	3,297,000	13,000
印刷費支出	300,000	300,000	0
外部監査管理費	150,000	150,000	0
雑支出	500,000	500,000	0
100周年記念事業支援金支出	2,000,000	2,000,000	0
事業活動支出計	53,971,358	53,080,500	890,858
事業活動収支差額	△ 7,462,138	△ 4,039,866	△ 3,422,272

II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入	2,500,000	2,400,000	100,000
100周年記念事業特別基金取崩収入	0	2,400,000	△2,400,000
学術事業安定化基金取崩収入	2,500,000	0	2,500,000
投資活動収入計	2,500,000	2,400,000	100,000
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	2,500,000	2,400,000	100,000
III 財務活動収支の部			
当期収支差額	△4,962,138	△1,639,866	△3,322,272
前期繰越収支差額	5,341,013	2,459,070	2,881,943
次期繰越収支差額	378,875	819,204	△440,329

3. 学会報編集計画案

(1) 編集機関

学会報第79巻の編集は、英文誌 (Journal of General Plant Pathology), 和文誌 (日本植物病理学会報 Japanese Journal of Phytopathology) とともに下記のように佐賀大学にて行う。

編集事務局：佐賀大学農学部

編集委員長：大島一里

副委員長：岩井 久

編集幹事長：草場基章

印刷：英文誌 シュプリンガー・ジャパン (株)

和文誌 中西印刷 (株)

発行日：英文誌 1号1月, 2号3月, 3号5月,

4号7月, 5号9月, 6号11月

和文誌 1号2月, 2号5月, 3号8月,

4号11月

(2) 投稿要領

原稿は投稿規定・細則に従って作成し、和文誌については、編集委員長 (〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学農学部応用生物科学科 大島一里) あて送付すること。

英文誌については、ウェブサイト <https://www.editorialmanager.com/jgpp/> にアクセスして投稿すること。

平成25年度役員および委員

会長 百町満朗

副会長 土屋健一

評議員 (◎常任)

北海道地区 ◎近藤則夫 田中文夫 増田 税

東北地区 ◎佐野輝男 吉川信幸 高橋英樹

古屋廣光

北関東地区 ◎夏秋知英 ◎對馬誠也

石黒 潔 阿久津克己 石川成寿

畔上耕児 築尾嘉章 津田新哉

南関東地区 ◎難波成任 ◎根岸寛光

桑田 茂 西尾 健 濱本 宏

夏秋啓子 平塚和之 有江 力

寺岡 徹

中部地区 ◎百町満朗 瀧川雄一 川北一人

景山幸二 柘植尚志 高松 進

近畿地区 ◎奥野哲郎 土佐幸雄 大木 理

久保康之 相野公孝

中国・四国地区 ◎秋光和也 荒瀬 榮 曳地康史

白石友紀 尾谷 浩 西口正通

九州地区 ◎土屋健一 岩井 久 大島一里

田代暢哉

会長指名 廣岡 卓 北 宜裕 松永 礼

森田健二 仲川晃生 金山晋治

長谷川裕 高橋賢司

会計監査 夏秋啓子 西尾 健 桑田 茂

原著編集委員 (◎委員長, ○副委員長)

◎大島一里 ○岩井 久

有江 力 Bogdanove, A.J.

Coffey, M.D. 藤 晋一 古屋成人

Inoue-Nagata, A.K. 岩波 徹

Jung, H.-Y. 景山幸二 小林括平

児玉基一朗 近藤則夫 Murray, T.D.

中村 仁 夏秋知英 大島研郎

Pappu, H.R. 笹谷孝英 鈴木文彦
高橋英樹 豊田和弘 津下誠治
月星隆雄 對馬誠也 Walsh, J.A.
Wirsel, S.G.R. Yun, S.-H 善林 薫

賞選考委員 (◎委員長)

◎百町満朗 土屋健一 有江 力
夏秋知英 土佐幸雄 高橋英樹
對馬誠也

功績者推薦委員 (◎委員長)

◎白石友紀 夏秋知英 寺岡 徹
築尾嘉章

選挙管理委員 (◎委員長)

◎阿久津克己 石川成寿 平塚和之

病名委員 (◎委員長)

◎仲川晃生 阿部恭久 青木孝之
荒城雅昭 井上康宏 石川浩一
岩井 久 門田育生 兼松聡子
近藤則夫 窪田昌春 宮川久義
夏秋啓子 大木 理 佐橋憲生
佐藤 衛 佐藤豊三 白川 隆
菅原 敬 鈴木孝仁 瀧川雄一
竹内 純 田中文夫 富岡啓介
月星隆雄 吉田重信

幹 事

庶務幹事長 根岸寛光
庶務副幹事長 有江 力
庶務幹事 芦澤武人 奥田 充
会計幹事 小松 健
副会計幹事 大里修一
編集幹事長 草場基章
編集幹事 平八重一之 松元 賢 中村正幸
大貫正俊 大城 篤 塩谷 浩
田場 聡 竹下 稔 田代暢哉
富濱 毅 津野和宣 上田重文
山口純一郎 吉田政博

専門委員会 (◎委員長)

100周年記念事業実行委員会

◎難波成任 秋光和也 有江 力
藤田佳克 日比忠明 百町満朗
石黒 潔 近藤則夫 眞山滋志
夏秋知英 根岸寛光 大島一里
奥野哲郎 佐野輝男 白石友紀
高橋賢司 土屋健一 對馬誠也
上田一郎 山田昌雄 山次康幸

吉川信幸

学会ニュース編集委員会

◎高橋賢司 根岸寛光 有江 力
宇賀博之 芦澤武人

植物ウイルス分類委員会

◎吉川信幸 畑谷達児 石川浩一
難波成任 中野正明 大木 理
大島一里 鈴木信弘 津田新哉
藤 晋一

国際対応委員会

◎夏秋啓子 柘植尚志 濱本 宏
佐野輝男 吉川信幸 有江 力
近藤則夫

将来問題検討委員会

◎難波成任 土屋健一 有江 力
大里修一 石川成寿 夏秋知英
柘植尚志 土佐幸雄 瀧川雄一

教育プログラム推進委員会

◎土屋健一 濱本 宏 石黒 潔
石川成寿 小松 健 根岸寛光
津田新哉 對馬誠也

技術士対応委員会

◎難波成任 桑田 茂 有江 力
中保一浩 濱本 宏 小松 健
大島研郎 白石俊昌

5学会技術士育成推進委員会

◎難波成任 桑田 茂 築尾嘉章
大島研郎 濱本 宏

JABEE 対応委員会

◎桑田 茂 増田 税 生井恒雄
高橋英樹 夏秋知英 宍戸雅宏
根岸寛光 寺岡 徹 瀧川雄一
古賀博則 大木 理 土佐幸雄
豊田和弘 大島一里 岩井 久

男女共同参画学協会連絡会

夏秋啓子

部会長

北海道部会長 田中文夫
東北部会長 本藏良三
関東部会長 西尾 健
関西部会長 久保康之
九州部会長 田代暢哉

日本学術会議・日本農学会・国際学会等の委員

日本学術会議連携会員 上田一郎 白石友紀
 柘植尚志 夏秋啓子

植物保護科学連合運営委員会 根岸寛光 夏秋啓子

日本微生物学連盟副理事長 上田一郎

日本微生物学連盟 監事 柘植尚志

日本農学会 評議員 百町満朗 土屋健一

運営委員 根岸寛光 有江 力

財団法人農学会 農学技術者教育推進委員会

桑田 茂

国際微生物連合 (IUMS)

対応委員 一瀬勇規

プログラム委員 宍戸雅宏

ウイルス分類委員 吉川信幸

細菌命名委員 瀧川雄一

国際植物保護会議委員 寺岡 徹

国際植物病理学会 (ISPP)

Council Members

寺岡 徹 秋光和也 土屋健一

夏秋知英 高橋英樹

Correspondent for Newsletter 大島一里

Members of Committee

Bacteriology 土屋健一

Chemical Control 石井英夫

Epidemiology 石黒 潔

Forest Pathology 鈴木和夫

Fusarium 青木孝之

Phytophthora 東條元昭

Rhizoctonia 内藤繁男

Seed Pathology 加来久敏

Soilborne Plant Pathogens 宍戸雅宏

Taxonomy of Plant Pathogenic Bacteria

瀧川雄一

アジア植物病理学会 (AASPP)

Council Member

夏秋啓子

平成25年度大会運営委員会

大会委員長: 百町満朗

大会副委員長: 景山幸二

プログラム委員長: 川北一人

幹事長: 清水将文

運営委員:

安達直人 足立昌俊 天野昭子 荒川征夫

石川敦司 伊代住弘幸 石黒 泰 稲垣公治

岩田忠康 大西 純 影山智津子 加藤晋朗

加藤久晴 小出隆子 古賀博則 小林一成

佐藤幸生 篠原 信 須賀晴久 鈴木啓史

鈴木幹彦 園田亮一 高原浩之 高松 進

瀧川雄一 竹本大悟 武山桂子 田中栄爾

田中弘太 田村美佳 柘植尚志 辻 朋子

恒川健太 寺見文宏 十亀美穂 外側正之

戸田浩子 永井裕史 中野正明 中島千春

芳賀 一 早川敏広 平田久笑 藤田智美

藤原亜希子 藤原和樹 堀之内勇人 松崎聖史

三宅律幸 宮崎暁喜 村元靖典 桃井千巳

森川千春 守川俊幸 森脇丈治 山本義治

吉岡博文 渡辺貴弘 渡辺秀樹 (50音順)

II-3. 会則・規程の改正 (案)

改正する事項について、概要を記し、関連する会則・規程を示した。条文の具体的な改正については、新旧対照表に記した。

本会関連学会および団体等委員推薦規程に関する改正

日本農学会の運営委員増員への対処 (本会関連学会および団体等委員推薦規程 1)

「運営委員には庶務幹事長および庶務副幹事長をあてる。」

新 旧 対 照 表

改 正 後	現 行
<p>本会関連学会および団体等委員推薦規程</p> <p>1. 本会関連の各種学会および団体の各種委員等の本会からの推薦にあたっては、それらの選出方法あるいは任期を下記のとおりとする。</p> <p>(1) 日本農学会の評議員には会長および副会長、運営委員には庶務幹事長および庶務副幹事長をあてる。</p> <p>付 則</p> <p>1. この規程は、平成5年4月3日より施行し、一部改正は平成6年4月3日、平成23年3月27日、平成25年3月27日に行った。</p> <p>2. この規程の一部改正は平成25年3月27日より施行する。</p>	<p>本会関連学会および団体等委員推薦規程</p> <p>1. 本会関連の各種学会および団体の各種委員等の本会からの推薦にあたっては、それらの選出方法あるいは任期を下記のとおりとする。</p> <p>(1) 日本農学会の評議員には会長および副会長、運営委員には庶務幹事長をあてる。</p> <p>付 則</p> <p>1. この規程は、平成5年4月3日より施行し、一部改正は平成6年4月3日、平成23年3月27日に行った。</p> <p>2. この規程の一部改正は平成23年3月27日より施行する。</p>

下線が変更点。

III. 平成 25 年度第 1 回日本農学会運営委員会議事録

日 時：平成 25 年 3 月 11 日（月）15 時 00 分～15 時 40 分

場 所：東京大学弥生講堂アネックス セイホクギャラリー

出席者：大熊幹章会長，磯貝彰副会長，三輪睿太郎副会長，河鱈実之／立石 亮（園芸），酒井敦章（砂防），窪野高德（樹医），中嶋正敏（植調），大貫靖浩（森林立），岩田洋佳（育種），北村義明（応糖科），星崎杉彦（応動昆（代）），小川 博（家禽），鴨下顕彦（作物），勝間 進（蚕糸），嶺田拓也（雑草），濱本 宏（植病），小島克己（森林），濱田奈保子／木下滋晴（水産），塩出大輔（水工（代）），大黒俊哉（造園），小澤壯行／山内啓太郎（畜産），大塚重人（土肥），坂本一憲（土微），真田篤史（熱濃），迫田登稔（経営），佐藤隆一郎（農化），有江 力（農薬），杉浦幸二（繁殖），中嶋康博（フード），五十嵐圭日子（木材），相馬智明（木材加工），牧野義雄（農機／生物環（代）），川越義則（農施），吉田修一郎（農村工），井上雅文（木質），黒住圭子（事務担当）

欠席者：福山泰治郎（砂防），吉迫 宏（シス農），土田志朗（実農），吉本 敦（森計），加藤 茂（海水），山下哲平（国地開），松村一膳（砂丘），高橋新平（芝草），内田和幸／金井克晃（獣医），根岸寛光（植病），益森眞也（森林），石川尚人（草地），入江彰昭（造園），野村こう（動遺育），白戸康人（土肥），横山 仁（気象），荒幡克己（経済），西山 真（農化），高垣美智子（農作），大倉利明（ペドロ），中村典裕（農情），中嶋 勇（農村工），八木洋憲（農計），山本伸幸（林経）

議長：大熊会長

議事：

1. 常任委員交代について
2. 平成 25 年度第 1 回日本農学会評議員会報告
3. 平成 25 年度（第 84 回）日本農学会大会準備状況
4. 平成 25 年度シンポジウム準備状況
5. 出版関連準備状況
6. 平成 26 年度シンポジウムについて
7. その他

配布資料

1. 平成 24 年度第 3 回運営委員会議事録（案）
2. 平成 25 年度第 1 回評議員会議事要旨
3. 平成 24 年度会計書類
4. 平成 25 年度（第 84 回）日本農学会大会プログラム（案）
5. 平成 25 年度日本農学会シンポジウム実施（案）
6. 平成 24 年度日本農学会シンポジウム成果概要出版について
7. 平成 26 年度日本農学会シンポジウムテーマ募集

8. 平成 25 年度日本農学会役員一覧

9. 常任委員割り当て表

議事 1. 常任委員交代について

大熊会長挨拶の後，岩田庶務担当常任委員より新任委員について紹介があった。

大黒俊哉（庶務担当），大塚重人（企画担当），吉田修一郎（会計担当）

平成 24 年度第 3 回運営委員会議事録について承認された。

議事 2. 平成 25 年度第 1 回日本農学会評議員会報告

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき報告があった。

- ・評議員交代に伴い，監査委員の改選があり，大杉立（日本作物学会）から太田明德（日本農芸化学会）に交代された。

- ・常任委員割当てが上位（会員数）18 学会とそれ以外で割当てられる事で承認され，見直しは 12 年後予定。

日本農学賞決定の報告。

北村会計担当常任委員会から，24 年度会計報告があった。

議事 3. 平成 25 年度（第 84 回）日本農学会大会準備状況

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があり，多くの方に参加していただきたい旨お願いがあった。

議事 4. 平成 25 年度シンポジウム準備状況

大貫企画担当常任委員より実施案について説明があった。

企画委員会で，講演順変更があった旨報告があり，了承された。

岩田庶務担当常任委員より学協会の皆さんへの積極的な参加のお願いがあった。

議事 5. 出版関連準備状況

岩田庶務担当常任委員より資料に基づき説明があった。

4 月 5 日に開催される日本農学会大会に合わせ出版・購入検討のお願いがあった。

三輪副会長から日本農学会の昨年のシンポジウムが発想となり，学術会議分野横断型大型研究拠点の形成として「復興農学」をテーマに提案している旨報告があった。日本農学会のシンポジウムは，農学全体としてのコンセプトを課題ごとに各分野がどのように作っていくかという非常に役立つシンポジウムなので今年のシンポジウムもぜひ参加していただくようお願いがあった。

議事 6. 平成 26 年度シンポジウムについて

岩田庶務担当常任委員よりテーマ募集について，加盟学協会事務局に依頼することについての説明があり，日本農学会が取り組むべきテーマについて，多くの学協会に提案してもらいたいとのお願いがあった。

議事 7. その他

- ・平成 25 年度役員名簿について

役員一覧表について、訂正、交代等があった場合は事務局へ連絡いただきたい旨の依頼があった。

- ・農業技術功労者表彰式参加のお願い

三輪副会長から、都道府県の研究者にとって権威ある賞である農業技術功労者表彰の授賞式が3月22日に開催されるとの報告があった。また、受賞者が所属する学協会の方々は是非授賞式に参加し、厳しい状況の中で努力して業績を

あげている研究者を励ましてほしいとのお願いがあった。

- ・大熊会長より4月5日に開催される日本農学大会への参加のお願いがあった。

- ・平成26年度評議員会について

次年度の評議員会は平成26年1月24日（金）を予定している旨報告があった。